

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

2022 年度

法人名	暮らしネットえん	代表者	小島 美里	法人・事業所の特徴	地域に根ざした事業所を目指している。これまで暮らしてきた家族や地域での人間関係を大切に、利用者の希望に添って生活の継続をしていただけるようつとめている。小規模多機能型介護の特性を活かし、出来る限り柔軟に対応して利用者やご家族を支えている。職員間では情報の共有、互いの質の向上に努めている。民家改修型の建物で、家庭的な雰囲気を感じている。利用者、ボランティア、職員が共に過ごす時間が心地よいと感じられるよう努力している。
事業所名	多機能ホームまどか	管理者	菅 嘉子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	3人	5人	0人	1人	2人	0人	2人	1人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報もあるので本人、家族に情報を民生委員に伝えていか確認する。そのうえでまどかから民生委員に情報を伝え連携を取り一緒に高齢者を支えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で暮らしていくうえで何かあった時の利用者の目や耳となっていたり、意見を聞いたりできる関係を取りたかったが、民生委員の名簿が手に入らずそこに至らなかった。 民生委員との連携が必要だと感じた利用者に関しては個別にアプローチした。 	<ul style="list-style-type: none"> 名簿が手に入らない件について、民生委員の担当は介護保険課ではなく福祉政策課になるが、民生委員からも名簿を渡すよう伝えているが一歩も進んでいない。 民生委員は受け持っている人数も多くそこまでフォローできない。 「こんな人ですシート」について改善計画に記載されているが作成、活用ができていないとのことでできる体制を検討してください。 研修は多数実施しているようだがなんとかできているの欄の人数が多く自己評価になっている。職員の希望に沿えないなどの要因があれば、改善計画に反映させ取り組みに活かせるようにしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員から受けた研修のアンケートをとり、希望に沿った研修の受講を検討・実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議にてまどか通信を使い、まどかでの出入りなどを含めた利用者への対応を説明し理解してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議でまどか通信を配布した。 運営推進会議でまどか通信の、夏祭りや三味線コンサートの写真を見ながら説明をした。 それらを行った結果まどかの活動を知ってもらえた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や家族の方が事業所に入りやすい工夫とはどういった取り組みをされていますか。(地域住民の認知症・介護相談を受けていることを掲示、子供110番の札を貼っている) 鍵はかかっておらず入りやすい。チャイムを鳴らすとすぐ来てくれる。 玄関前に車が駐車してあると入り 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車スペースに限りがあるため別の場所に駐車する等の工夫をして玄関前のスペースの検討をする。

			づらい。	
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人に認知してもらうために、まどか通信を町内会や公民館、周辺のお店に掲示していただけるようお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月まどか通信を町内会に配布し周辺のお店に掲示していただいた。公民館には掲示や配布はできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栗原から行かれている利用者もいるが、栗原周辺にはあまり知られていないように感じる。石神や堀ノ内の方達は知っているかもしれないが。 ・まどかってどこですかと聞かれたことはある。建っている場所も分かりづらく近くに保育園があるので保育園の近くと伝えたことはある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はまどかコンサートを開催し、それに合わせて広い地域に周知する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、そして家族に了承をとり民生委員にサービス担当者会議に参加してもらう機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はサービス担当者会議に民生委員の参加はなかった。民生委員としっかり繋がっている利用者が少なかったのもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新座市の認知症初期集中支援チーム員のメンバーになっている。 ・コロナもあり利用者との外出の機会が減っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ等感染症の状況を見ながら、日頃から行っている散歩以外に、月に一回は外出の機会をつくる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・まどかの利用者を地域の方が支えている事例をまどか通信にのせ、運営推進会議においてもその内容を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が利用者を支えていることはまどか通信で伝えられた。 ・会議の場では内容を発表するに至らなかったが、委員の方々にはまどか通信を配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が支えている事例の報告はされていない。 ・地域の心配の方（虐待）の事例の見当はした。 ・今年度は意識してまどか通信を使い紹介させてもらった。何より利用者の表情など写真で載っており日常的な関わりが伝えられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が支えている例を示して検討いただく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ含む感染症の感染状況を見ながら引き続き防災訓練の参加を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に事業所内で実施。3月は地域住民にお知らせして実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は3町会合同の防災訓練がコロナによって中止になってしまった。次回は役員中心に企画していくので開催の際は参加してほしい。 ・事業所の改善計画は今回達成できたか。(3月の訓練は近隣・運営推進委員の方々に参加を呼び掛けた) ・今後もコロナ禍は収束していないので計画が達成できないのであれば別の目標をたてるように。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害のBCP（業務継続計画）を作成する。